

全国で唯一

博多港アイランドシティコンテナターミナルにおいて CNP認証（コンテナターミナル）の最高評価を獲得

港湾は日本の輸出入貨物の99%以上が経由する物流拠点であり、国においては、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を図る「カーボンニュートラルポート（CNP）」の形成が進められています。その取組みの一環として、令和7年6月に脱炭素の取組みを客観的に評価する認証制度「CNP認証（コンテナターミナル）」制度の運用が開始されました。

このたび、CNP認証制度において、別紙のとおり、博多港アイランドシティコンテナターミナルが**全国で唯一“最高評価”を獲得**しましたのでお知らせいたします。

博多港では、脱炭素社会の実現に貢献するとともに、国際競争力を強化し、船社や荷主から選ばれる港湾を目指すため、CNP形成に向けた様々な取組みを進めているところです。

なかでも、博多港アイランドシティコンテナターミナルでは、電力消費の最適化・省エネ化を実現する荷役設備の導入や独自システムを活用した物流の効率化など、先進的な整備に取り組んでおり、このたびの最高評価はこれらの取組みが高く評価されたことによるものです。

今後は、本認証も活用しながら、引き続き国内外から選ばれる港湾を目指し、CNP形成に向けた取組みを進めてまいります。

CNP認証制度とは…

国内港湾のコンテナターミナルを対象に、脱炭素の取組みの透明化を図り、客観的に評価することでCNP形成の促進に寄与するものとして、国土交通省が創設。
脱炭素の取組みの実施状況に応じてレベル1からレベル5までの多段階の認証レベルで評価するもの。

▼CNP認証の取得要件及び博多港アイランドシティコンテナターミナル（ICCT）の取組み状況

- 認証レベル レベル5+（本認証制度に申請したコンテナターミナルの中で最高評価）
- レベル5の取得要件とICCTの取組み状況 ※詳細は次頁参照

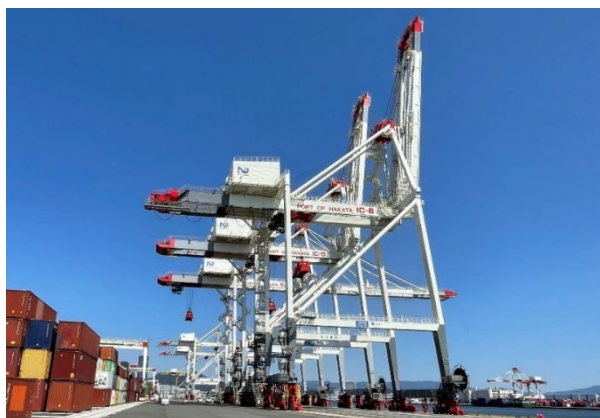
レベル5の取得要件	ICCTの取組み状況
港湾脱炭素化推進計画の作成	令和5年11月策定
インバータ制御方式のガントリークレーンの導入（導入率100%）	導入率100%
低・脱炭素型トランスファークレーンの導入（導入率100%）	導入率100%
LED照明の導入（導入率100%）	導入率100%
環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入	入港料減免制度の導入
ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施	物流ITシステムの導入

●+評価を獲得したICCTの取組み内容（※1）

船舶燃料としてLNG（液化天然ガス）の供給が可能

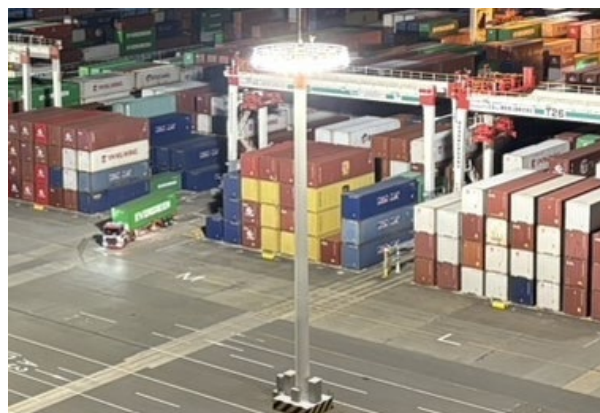
※1） レベル1～5を取得するための要件とは別に、国が定める推奨事項を満たした項目数に応じて、認証レベルに+が加算される仕組み。博多港では上記の1項目を満たしているため、+評価を1つ獲得したものの。

■ インバータ制御方式のガントリークレーンの導入（6基）



着岸した船のコンテナを積み降ろしする荷役機械。インバータ制御による荷役時の出力の最適化により、無駄な電力消費を抑制。

■ ヤード照明のLED化（10基）



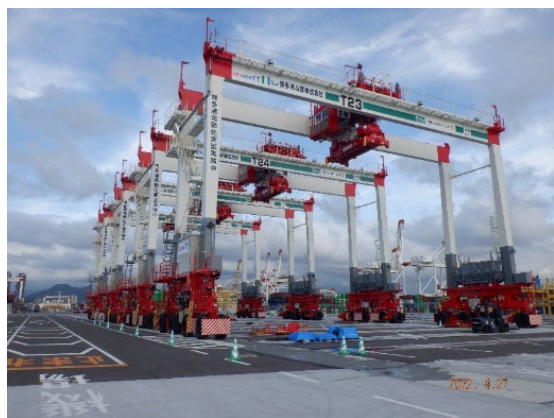
LED化により、従来のナトリウム灯に比べ消費電力を削減。

■ ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策



博多港独自の物流ITシステム“HiTS”の導入により輸出入コンテナ情報の把握や受付情報の事前入力等が可能となり、ゲート前の渋滞等が解消。

■ 電動式トランスファークレーンの導入（26基）



ターミナル内のコンテナ置き場でコンテナを積み降ろしする荷役機械。電動化により、従来のディーゼルエンジン型に比べ省エネ化を実現。

■ 環境配慮型船舶への入港料減免制度の導入

対象船舶	減免内容
・LNG燃料船 ・水素燃料船 ・バッテリー推進船 ・アンモニア燃料船 ・合成燃料※を使用する船舶（グリーンメタン、グリーンメタノール）	全額免除
・バイオ燃料を使用する船舶 ・合成燃料※を使用する船舶（重油、軽油）	混合割合に応じ減免額を決定

（令和6年4月より実施）

※合成燃料：水素とCO2を合成して製造されるカーボンニュートラルな燃料

■ LNGバンカリング（燃料供給）



LNGバンカリング船による船舶へのLNG燃料の供給が可能。



令和7年9月25日

港湾局産業港湾課

CNP認証（コンテナターミナル）の**初**認証 ～コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組レベルを評価～

国土交通省港湾局では、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組を客観的に評価する認証制度「CNP認証（コンテナターミナル）」に基づき、申請のあった5つのターミナルに対して、本制度の創設後初となる認証を行いました。

CNP認証（コンテナターミナル）の更なる普及により、カーボンニュートラルの観点で荷主や船社等によるターミナルの選択が可能となることから、ポートセールスでの活用とともに、CNP形成に向けたターミナル間での競争を期待しています。

1. 「CNP認証（コンテナターミナル）」とは

- ・国土交通省では、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（CNP）の形成を推進しています。
- ・CNPの形成を推進する取組の一つとして、令和7年6月、コンテナターミナルにおける脱炭素化に向けた取組の実施状況をレベル1～5までの多段階で評価する認証制度「CNP認証（コンテナターミナル）」の運用を開始しました。

2. 初認証ターミナルの概要

令和7年6月30日（月）～令和7年7月4日（金）の期間に申請を受け付けた以下5ターミナルを認証しました。

- | | |
|-----------------------|--------|
| ・博多港アイランドシティコンテナターミナル | レベル5＋ |
| ・川崎港コンテナターミナル | レベル4＋ |
| ・名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル | レベル3＋＋ |
| ・大阪港南港コンテナターミナル C-1/4 | レベル2＋ |
| ・高松港コンテナターミナル | レベル1 |



※認証レベルの上位順に記載

※詳細は別紙参照

※後日、所轄の地方整備局において認証書交付式を行いますので、別途お知らせします。

※認証ターミナルの情報についてはCNP認証ポータルサイト（下記QRコード）にて公表しております。

【問い合わせ先】 港湾局 産業港湾課 CNP推進室 末宗、富田
代表：03-5253-8111（内線：46-468）、03-5253-8672（直通）
メールアドレス：hgt-cnp-certificate@gbx.mlit.go.jp



港・ターミナル名	認証レベル	各レベル取得要件	ターミナルの取組状況	推奨項目(+)の詳細
博多港 アイランドシティコンテナターミナル	レベル 5 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・L N G バンカリングへの対応
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率100%)	導入率100%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率100%)	導入率100%	
		・L E D 照明の導入 (導入率100%)	導入率100%	
		・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入	○	
		・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施	○	
川崎港 コンテナターミナル	レベル 4 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・低・脱炭素化された電力の導入
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率80%以上)	導入率100%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率80%以上)	導入率89%	
		・L E D 照明の導入 (導入率80%以上)	導入率47%(*1)	
		・環境に配慮した船舶への入港インセンティブの導入	○	
		・ゲート前の渋滞、ヤード内の滞留対策の実施	○	
名古屋港 鍋田ふ頭コンテナターミナル	レベル 3 + +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・電動トップリフターの導入 ・L N G バンカリングへの対応
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率50%以上)	導入率63%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率50%以上)	導入率75%	
		・L E D 照明の導入 (導入率50%以上)	導入率100%	
大阪港 南港コンテナターミナル C-1/4	レベル 2 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	・カーボンオフセットの取組実施
		・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 (導入率10%以上)	導入率88%	
		・低・脱炭素型トランスファークレーン・ストラドルキャリアの導入 (導入率10%以上)	導入率74%	
		・L E D 照明の導入 (導入率10%以上)	導入率48%	
高松港 コンテナターミナル	レベル 1	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	-

(*1) ターミナルに再生可能エネルギー100%の脱炭素電力が導入されているため、要求事項を満たすものとして評価。